

# 方言レコーダー

方言を無くさない、字幕をつけさせない

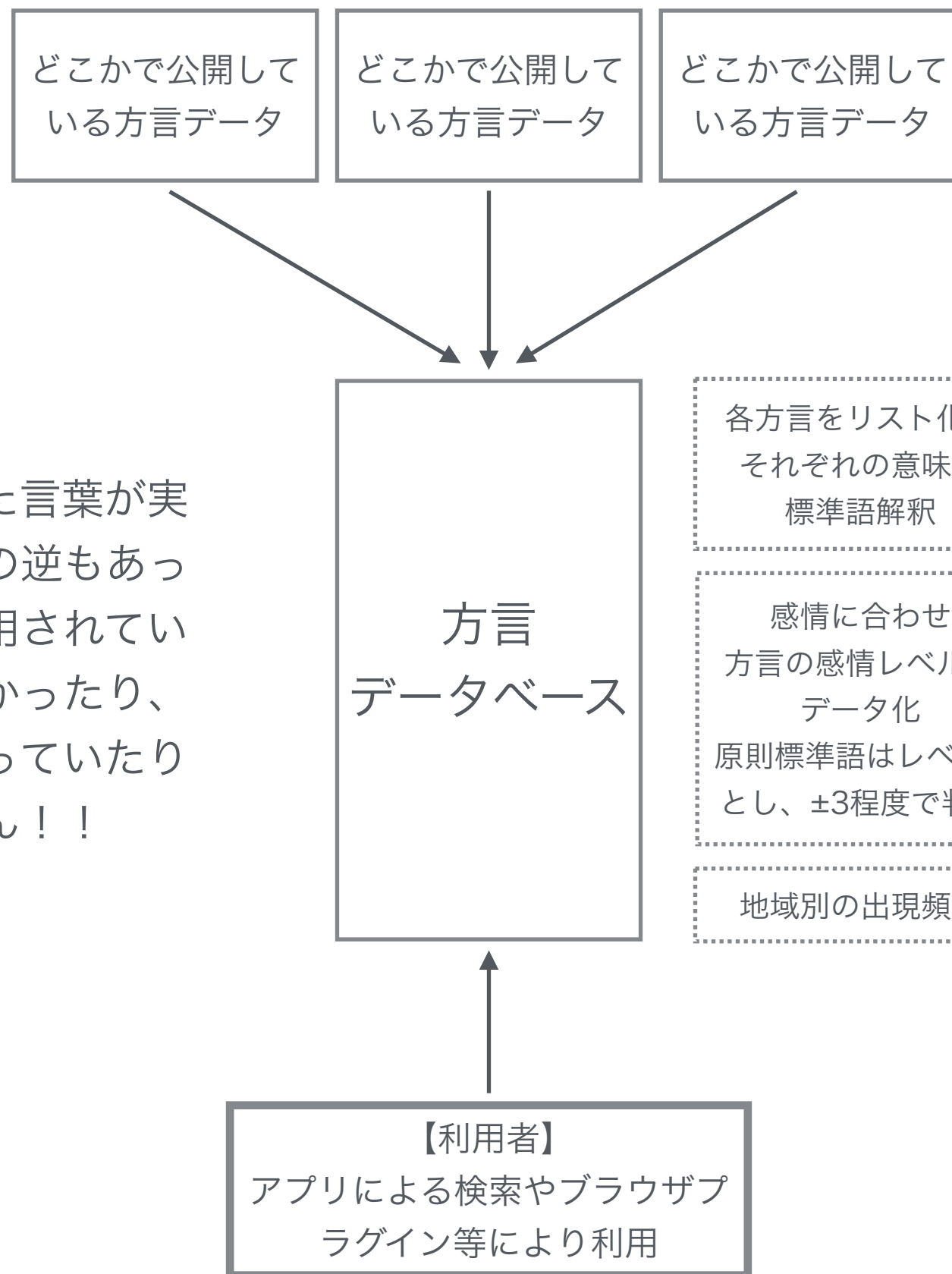
# 方言「ほうげん」

- ・ 日々生まれ、そして消えて行く言葉。特に方言はその世代毎に微妙に変化して行き、同じ市町村であったとしても、その地区によって微妙に異なる
- ・ その場の雰囲気によって、方言の話し方も変わって行き、方言がさらなるローカル方言へと変化して行く。
- ・ 同じ「日本語」であっても字幕がつけられる位、標準語とはほど遠い、意味不明、でも愛くるしい方言。
- ・ さまざまな感情表現ができる「日本語」だが、方言はさらにその感情を細分化させるような使い方もある。
- ・ 方言は一種のアイデンティティ

# このニュアンス、伝わってほしい

- ・ 地方出身者は方言によって微妙なニュアンスを伝えなくなる。分かってほしい、このニュアンス。
- ・ でも、住んでいる場所や地域によって、やはり意味不明なのが方言
- ・ どうすればいい？この思い。

標準語だと思っていた言葉が実は方言だったり、その逆もあったり、複数地域で利用されている方言である事が分かったり、同じ言葉で意味が違っていたり、気付きがたくさん！！



【例1】  
方言：わや  
標準語：すごい  
分類：感情  
レベル：1から2

方言：わいや  
標準語：すごい  
分類：感情  
レベル：2から3

【例2】  
方言：はも  
標準語：マアナゴ  
分類：魚